

生活と社会 (Living and Society)

都市の人間関係 (personal network in the urban life)

矢部 拓也・准教授/大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部

2単位 後期 火 9・10

(平成 19 年度以前の授業科目:『生活と社会』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『社会学』)

【授業の目的】現代の都市社会構造を人間関係(パーソナルネットワーク)の側面に注目して明らかにしてゆく事が本講義の目的である。

【授業の概要】森岡清志編著(2000)『都市社会の人間関係』放送大学教育振興会を基本テキストとする。それに加えて、適宜、ベーカー著、中嶋豊訳、2001『ソーシャル・キャピタル ―一人と組織の間にある「見えざる資産」を活用する』、ダイヤモンド社、安田雪、1997、『ネットワーク分析:何か行為を決定するか』新曜社の内容で、重要と思われるところを加えながら講義を進める。

【キーワード】都市社会学, 現代社会, パーソナルネットワーク

【到達目標】自分たちの身近な生活世界と<社会>とのつながりを語れるような「社会学的想像力」を身につける

【授業の計画】

1. ガイダンス
2. ワークショップ「ワニの川」社会の多様性
3. 社会的ネットワークとパーソナルネットワーク
4. 都市生活と社会的ネットワーク
5. 北カリフォルニアのパーソナルネットワーク
6. 日本の大都市におけるパーソナルネットワーク
7. 都市化と親族関係
8. 現代の都市家族
9. 都市家族とネットワーク
10. 連帯的なネットワークと家族/現代日本の『家族・コミュニティ問題』1
11. 解放化するネットワークと家族/現代日本の『家族・コミュニティ問題』2
12. 階層とネットワーク
13. 社会的資源としてのネットワーク
14. 高齢者のパーソナルネットワーク
15. インターネットと人間関係
16. 総括授業

【教科書】

- ◇ 森岡清志編著、2000、『都市社会の人間関係』、放送大学教育振興会(放送大学教材 83138-1-0011) 参考書

- ◇ ベーカー著、中嶋豊訳、2001『ソーシャル・キャピタル ―一人と組織の間にある「見えざる資産」を活用する』、ダイヤモンド社

- ◇ 安田雪、1997、『ネットワーク分析:何か行為を決定するか』新曜社

【成績評価の方法】期末レポート 80%、出席 20%。授業の進め方も含めて、初回の授業で詳しく説明するので、必ず出席すること。

【再試験の有無】無

【受講者のメッセージ】単に座って講義を聴くのではなく、これまでの自分の身の回りの経験を元に自分なりの社会を語れるようになってもらいたいと考えている。社会に対するいろいろな疑問や不満を持っている人の参加を期待する。

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221087>

【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 矢部 (1228, 088-656-9311, yabe@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 木曜日 12:00~ 12:45(時間帯は随時メールにてご相談下さい))